



飯能ロータリークラブ会報



唐竹晩秋 Karatake in late autumn

© photo by Isao Yoshida



世界に希望を生み出そう

RI会長 **ゴードン R. マッキナリー**

第2570地区ガバナー **高丹秀篤**
第3グループ
ガバナー補佐 **齋藤栄作**

希望を語ろう We are Rotary, together

第3090例会 2023. 11. 8

—— ローターリー財団月間 ——

天候 晴 (NO. 60-19)

会長 馬場正春 幹事 神田敬文

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当番 小谷野君

例会場: ホテル・ヘリテージ飯能sta.

☎(042)975-1313 〒357-0038 飯能市仲町11-21

事務局: 飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7

☎(042)973-1661 FAX(042)973-1662

http://www.hanno-rc.org/ E-mail: hannorc@hanno.jp

- ・点鐘 馬場会長
- ・ソング 君が代 奉仕の理想
- ・四つのテスト唱和 伊澤職業奉仕委員長
- ・卓話 茂木 聡様

【会長報告】

4、5日「飯能まつり」が4年振りに開催。2日間で22万人(過去には16万7千人)が繰り出したそうで山車の引き合わせ等、賑やかに盛大に行われました。

4日「第46回日本スリーデーマーチ」(東松山・東松山むさしRC協賛)に地区副委員長の大崎会員が参加。RI会長、高丹Gのテーマ旗を掲げ“END POLIO NOW”の赤いTシャツを着て行進して頂きました。

11月は「ロータリー財団月間」です。「財団はRCの奉仕を動かす燃料」とRI会長は言われ、高丹ガバナーも「財団に寄付をすることでRC活動へのエネルギーを供給し続けなければなりません。今年度の地区DDFの申請数は飯能も含め37件(約555万円)。各クラブの地域貢献活動が活発に企画されている証し」と仰っています。

【幹事報告】

理事会にて1月のプログラム承認。クラブ協議会は1分以内で発表をお願いします。11/29第3回パスト会長会議。入間南RC 11/28公開講演会(入間市産業文化センター)講師N.アンドリー氏。地区の大相撲春場所観戦は残り17席。5/24~28シンガポール国際大会への参加希望は私まで。RIレート1ドル149円。

【委員会報告】

◎親睦活動委員会 坂本君

11/19親睦ゴルフコンペ8組32名の参加予定。表彰式・懇親会17時半「清河園」。

【出席報告】無届欠席1 大野(泰)出席向上委員長

会員数		当日	
全数	対象	出席数	出席率
64名	4名	54名	84.38%

【M U】

10/20(狭山中央) 半田君

【結婚・誕生日祝】

永安寺親睦活動委員

◇金婚式おめでとう 田辺 寛君(11/3)

◇入会記念日おめでとう 山川君、吉島君

◇結婚記念日おめでとう 伊澤君、田辺君、新井君
和泉君、島田君、土屋君、細田(吉)君、細田(伴)君
安藤君、本橋君、沢辺君

◇会員誕生日おめでとう 大崎君、吉田(武)君、山口君

◇夫人誕生日おめでとう
細田(伴)夫人、内沼夫人、馬場夫人、新井夫人
田辺夫人、大附夫人

【SAA報告】

◎ニコニコBOX

・ロータリー財団月間にあたり本日卓話をさせて頂きます。飯能RCの皆様よろしくお願ひ致します。(地区ロータリー財団委員長) 茂木 聡様

・茂木様、本日は卓話を有難うございます。よろしくお願ひします。 土屋君、大崎君

・誕生日お祝ひ有難うございます。 大崎君

・結婚記念日お祝ひ有難うございます。
細田(吉)君、細田(伴)君、新井君、土屋君、島田君
吉澤君、沢辺君、本橋君、伊澤君、田辺君

・夫人誕生日お祝ひ有難うございます。 新井君

大附君、細田(伴)君、田辺君、馬場君、内沼君

・長男の所に男の子が生まれました。初孫です。おじいさんの仲間入り。先輩方よろしくお願ひします。 大野(康)君

・金婚式お祝ひ有難うございます。 田辺君

・11/1名称を「飯能南口歯科」と改め医院をリニューアルオープン致しました。長男と共に診療します。今後共よろしくお願ひします。 川口君

・早退致します。 本橋君

本日計103,000円、累計額383,501円。

◎15日例会当番は増島、前島会員です。

【卓話】

講師紹介

土屋ロータリー財団委員長

1959年生まれ、64歳。81年、日本大学理工学部建築学科をご卒業。現在「(有)茂木聡建築設計事務所」代表取締役。主なRC歴：00年、本庄RCに入会。07年、地区ロータリー財団部門推進委員会委員。08年、本庄RC幹事。11～14年、地区ロータリー財団部門補助金奨学委員長。15年、地区幹事。16年、地区ロータリー財団部門補助金委員長。17～20年、地区ロータリー財団部門委員。19年、本庄RC会長。23年、現職に就任。

ロータリー財団 世界でよいことをしよう

第2570地区 ロータリー財団委員会 統轄委員長 茂木 聡様 (本庄RC)

飯能の皆様には毎年ロータリー財団(以下「財団」)に対しご理解ご協力を頂いておりますこと御礼申し上げます。また、大崎さんには本年度、資金管理委員会副委員長としてサポートを頂いております。

106年前の1917年、時のRI 会長アーチ・クランプは、アトランタでの年次大会で「世界でよいことをするための」基金の設置を提案します。ロータリアンが世界でよいことをするために創ったのが財団であり、この考えは今日まで同じです。財団はロータリアンのためにあるものです。

財団には「使命」と「標語」があります。人々の健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保護に取り組む、貧困を無くすことを通じ、世界理解・親善・平和を達成できるようにする。これが「使命」で、「世界でよいことをしよう」が「標語」です。

毎年、年次報告を開示しています。2021-22年度には1199件のグローバル補助金、478件の地区補助金、228件の災害救援補助金を授与。33件のポリオプラス補助金を授与し、130名のロータリー平和フェローを選出して参りました。

財団の収支報告です。支出は年間3億3千万ドル。ポリオプラスに1億5千万ドル。グローバル補助金に7300万ドル。地区補助金に2700万ドル。ロータリー平和センターに400万ドル。その他の補助金に1900万ドル(災害救援補助金800万ドル、大規模プログラム補助金200万ドルを含む)。さらに、そのプログラムの運営費に2100万ドル。全体の89%が直接的なプログラム補助金とその運営費に充てられているということが財団の顕著な特徴です。

財団管理委員会は毎年ロータリアン1人あたりの寄付目標を我々役員に言ってきます。それを受けて本年度も当地区財団委員会として寄付目標を設定しました。年次基金に1人150ドル以上。使途指定ポリオプラスに1人30ドル以上。元金を使わず収益のみを使う恒久基金に1人30ドル以上。合わせて210ドル以上をお願いしています。飯能の昨年度の実績は年次基金5500ドル、ポリオプラス2100ドル、恒久基金3100ドル、計1万700ドル。会員数で割ると1人153ドル。「210ドル」を会長ならびに財団委員長にはお願いしたいと思っております。

財団のプログラムはたったの3つ。ポリオプラス、ロータリー平和フェローシップ、補助金です。

1985年にポリオプラスのプログラムを開始して以来RIの最優先項目はポリオの根絶です。「10月24日」は「世界ポリオデー」。11/4にはエンドポリオノウ・ウォークと称し地区から会員・家族58名の参加を頂きPR活動を実施しました。122か国25万人以上の子どもに予防接種を行ってきましたが未だ根絶されてはおりません。財団支出の45%、1億5千万ドルもの資金を使って毎年4億人以上の子どもに予防接種を行い、15万人以上の保健従事者を雇用しています。皆様からの寄付が子どもの命を救い、明るい未来へのチャンスを与えているとご理解頂きたいと思っております。

当地区でただ一人のロータリー平和フェローシップ、



金子由佳さん(第8期2009～2011年)はガザ地区で子どもの栄養改善プロジェクトに取り組み、今は日本赤十字社で働いています。2002年創設のロータリー平和センターは今まで1700名以上のフェローを輩出してきました。

補助金は4種類。災害復興支援に特化した「災害救援補助金」は被災地区が申請(2万5千ドル以下)。申請は簡単。

基金不足の時は順番待ち。3年目の「大規模プログラム補助金」は国際的人道奉仕に利用(3～5年、200万ドル以上)。競争制で年1口の拠出。過去には、ザンビアでのマラリア予防、今年度はエジプトでの子宮頸がんの啓蒙活動等に使われるそうです。

「地区補助金」「グローバル補助金」の2つは人道奉仕、奨学金、職業研修に利用可能。前者は国内外、小規模短期。後者は国との事業で、予算は3万ドル以上、重点分野に該当し持続可能性のあるもの。国際財団活動資金(WF)からの上乗せがあり、利用するにはまず授与と受諾の条件に従い、補助金管理セミナーに出席すること(次回3/2)。海外の地区、クラブとの共同申請、7重点分野に合致等の条件があります。

財団補助金の原資ですが、3年前に頂いた年次基金寄付ならびに恒久基金の収益部分を足して、財団がそこから管理運営費5%を引き、残った95%が半分ずつ「国際財団活動資金(WF)」と「地区財団活動資金(DDF)」になります。DDFの最大50%までしか地区補助金は使えないという条件が付いています。DDFを使ってグローバル補助金申請を行った場合、WFからDDFの80%までの上乗せが貰えるので是非DDFを使ったグローバル補助金プロジェクトを活発に行って頂きたいのです。自分達の寄付がより有効に使えるのかなと思います。WFは財団管理委員会が使途を決めます。

現行の補助金システムになって今年で11年目。初年度(2013-14年度)以来、DDFを利用した「地区補助金奨学生」を毎年複数名輩出しています。今年度はおりません。人道的奉仕の地区補助金申請は初年度18クラブより15件頂き、今年度は37クラブより32件頂きました。

初年度の「グローバル補助金奨学生」は1名。今年度は2名派遣。2名共、重点分野に合致した研究を米国で行っています。10月にJICA職員としてヨルダンに赴任した奨学生は難民支援の活動をするとのこと。2015-16年度はブルキナファソと地区とで識字率向上プロジェクトを実施。私は現地視察に行きました。2019-20年度は4件で、人間RCはネパールと、川越RCはミャンマーと、第4グループは台湾と、本庄南RCはタイと実施。今年度は1件申請中。

DDFの活用状況・予定ですが、3年前の年次基金の50%: 114,415ドル9セント、恒久基金の収益の50%: 39,061ドル68セント、計153,476ドル77セント。残っているDDF 251,079ドル8セントを繰り入れ、合計404,555ドルのDDFを今年度当地区はもっています。潤沢なDDFですので、第3グループを代表して飯能RCにも是非グローバル補助金の申請をして頂き、財団をより身近に感じて頂ければと思います。

2023年12月のプログラム (月間テーマ 家族月間)

Table with 4 columns: 月日, 例会数, 行事予定, 当番[担当委員会]. Rows include 12.6 (3094) 年次総会, 12.13 (3095) クラブ協議会, 12.20 (3096) クリスマス例会, 12.27 (3097) 例会取消.